

【核燃料サイクル開発機構幌延深地層研究センターからのお知らせ】 「試錐調査」が終了いたしました。

ご協力ありがとうございました

平成 14 年度幌延深地層研究計画に基づき、幌延町北進地区の 3 箇所において、試錐（ボーリング）調査を平成 14 年 10 月より行ってまいりましたが、平成 15 年 2 月 18 日に現地調査が終了いたしましたのでお知らせいたします。今後は、試錐のやぐら撤去等の作業を行います。

これらの調査結果は、データの取りまとめが終了次第公表いたします。

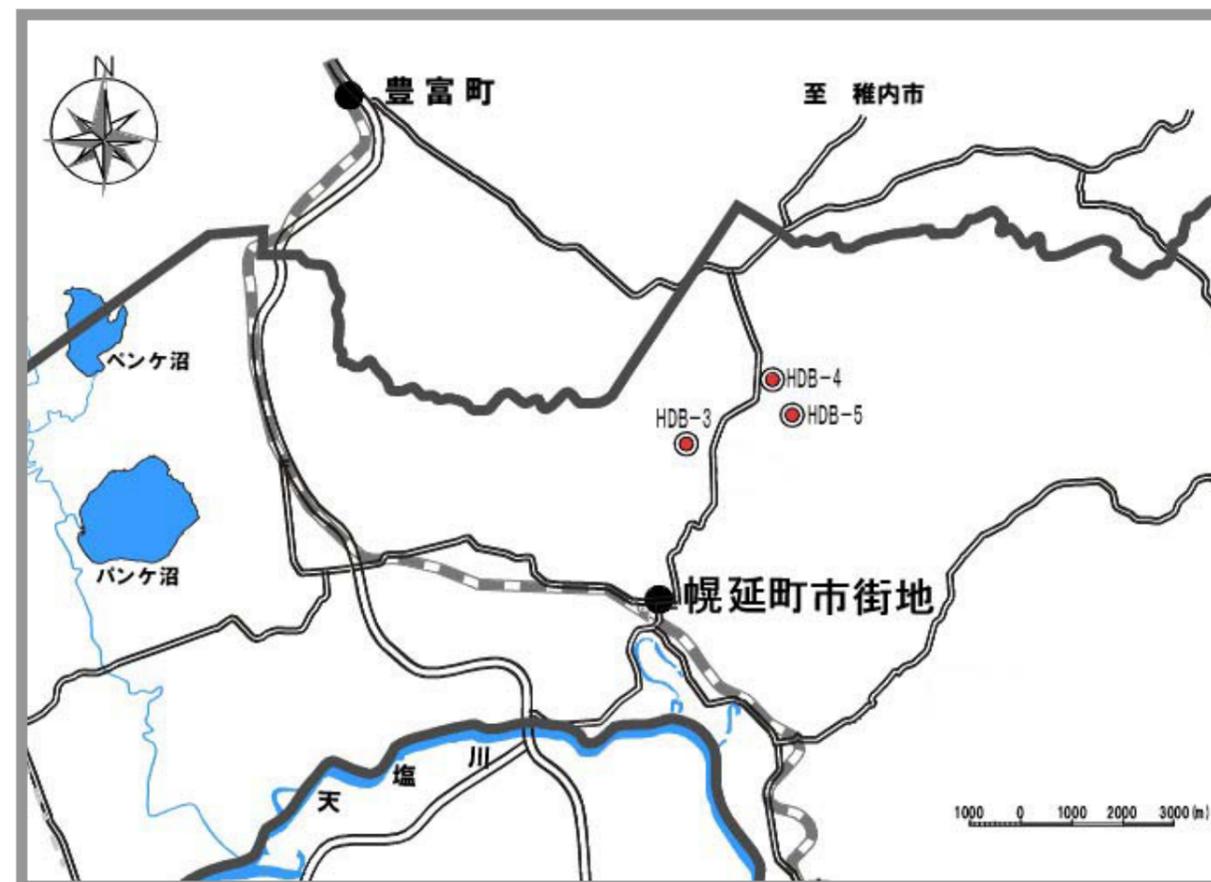
掘削した試錐孔は、今後、モニタリング調査に使用する予定です。

今後とも幌延深地層研究計画へのご理解ご協力をお願いいたします。

【調査の概要】

直径 10～20cm 程度の孔を深さ 520m まで掘削し、地下深部の岩石を採取しました。

この岩石を用いた室内試験および試錐孔を用いた調査・試験を実施し、地下の重なりや地質構造、岩盤の強度、地下水の性質、ガスの量などのデータを取得しました。



平成 14 年度試錐調査実施地点（HDB-3 孔、HDB-4 孔、HDB-5 孔）

お問い合わせはこちらへ！

核燃料サイクル開発機構 幌延深地層研究センター

〒098-3207 北海道天塩郡幌延町宮園町 1 番地 8

TEL:01632-5-2022 FAX:01632-5-2033